

とうきょうすくわくプログラム活動報告書 2026 年度

社会福祉法人崇仁会 用賀みこころ保育園

◎実績と振り返り（8・9月）

身近な楽器は、叩く、打ち合わせる、吹くなどが多いことに気づいた。

保育室に小さなピアノを置くと、鍵盤を押して何の音か当てるゲームや「かえるの歌」を弾いて遊ぶ姿が見られた。

アコーディオンの演奏を聞いて、耳を近づけたり、布が張ってある所に触り、震えていることに気づいた。鍵盤はあるが、叩いて音を出すものではなく、フイゴを動かすことで、空気が何処かを通ると音が出ているみたいだと、意見が出た後、笛を吹くように音が鳴る仕組みの楽器もあることを知った。

音階にも興味を持ってきたため、今回は自分達で音階を作って遊んでみることにした。



★身近なもの（ストロー）で笛を作ってみよう！

(Let's make it)

① ストローを好きな長さに切って鳴らしたら？

好きな長さに切って底をテープで留め、口に当てながら息を吹くと音が出た。「ポーって音が鳴った」「わたしはポーって、高い音が鳴った」「長さで音が違うの？」「ちょっとずつ切って試してみようよ！」

② 長い⇒短い順番に並べてみたら？と調節する

(long・short)

長さ順に並べて、その順番に音を鳴らした。「ドレミ・・・に聞こえる！」「ドレミファソラシドまで作ってみたい！」と繰り返し挑戦した。

③ ドレミファソラシド・・・まで音階に聞こえる笛の完成！



★鳴らしてみよう！（Let's play）

「ドレミまで吹けた！」「バイオリンで習っているきらきら星やってみるね！」と、息の入れ方（口の形）や持ち方（角度）を工夫して、音階を意識しながら、遊びを楽しむ姿が見られた。

「もっと色々な楽器を鳴らしてみたい！」「去年の年長さんみたいに演奏したい！」という発言があり、身近な楽器を鳴らしたり、リズムを合わせて楽しんだりする姿が見られている。クラスで話し合い「色々な楽器で合奏したい」ということになり、タブレットで音を聞き、鉄琴や木琴、スティールパンなどの楽器を選んだ。音を出すことやリズムがあった心地よさを味わう中で「どこで鳴らすのがいいと思う？」と皆で考えることにした。12月の発表会で演奏するという目標を決めワクワクする姿がある。音を楽しみながら、一体感を味わえる機会にしたい。